

北上市立
鬼の館
だより

2017(H29). 10
第47号



おかげさまで来館者70万人を達成しました！！！！

平成 29 年 7 月 30 日に 70 万人目のご来館者となった藤岡さんご夫妻
記念品として、北上銘菓の詰め合わせと鬼の絵が描かれたマグカップを贈りました。

特別展 大島八寿子「泣いた赤鬼クラフト展」開催中！
9月16日(土)～11月12日(日)

現在、特別展 **大島八寿子「泣いた赤鬼クラフト展」** を好評開催中です。童話『泣いた赤鬼』に感銘を受けた布絵作家・大島八寿子さん制作のさまざまな布を使った赤鬼・青鬼のタペストリーを展示しています。全て手縫いで丁寧に生み出された鬼さんたちは表情豊かで、今にもこちらに声をかけてきそうです。どこか自分に似ている鬼さん、お友だちになってみたい鬼さん等々…50人の鬼さんを見つめながらお気に入りの鬼さんを探してみたいはいかがでしょうか。



50人の赤鬼・青鬼たちがお出迎え

鬼の館平成 29 年度上半期をふりかえって

鬼剣舞を深める

特別展・芸能公演を通して

平成 29 年度は、「鬼剣舞を深める」ことに重点を置いて事業を展開しております。

その一つは、特別展「収蔵資料展～剣舞編」でした。鬼剣舞の起源は 1280 年ほど前とも言われます。各地で踊り継がれ語り継がれ、秘伝書を通して脈々と伝えられてきました。そのもっとも古い秘伝書(1732 年)は、岩崎城主岩崎弥十郎が主君和賀氏より、剣舞の踊り組連中は笹リンドウの紋を付けてもよいというお許しがあつた事を人々に教えています。1360 年のことです。今回は実物を展示し、見ていただくことができました。

二つ目は芸能公演です。鬼剣舞は祈りを込めた踊りです。季節季節の農民の願いであったり、慶弔や厄除けであったり、踊られる場は様々です。そこで今年は、公演ごとにテーマを設けて実施しています。「一年の始まり」「花の賑わい」「青少年の競演」「さなぶり～豊作祈願」「ご祝儀～結婚式編」「精進の日々」「盆～なつかしき顔と先祖供養」「秋祭り」などがすでに実施されました。6 月 25 日の公演では、婚約中のカップルを新郎新婦に見立て、踊り組に対してご祝儀を渡すというパフォーマンスが行われ、拍手をいただきました。



秘伝書に学ぶ



新郎新婦役



ご祝儀、ありがとうございました



鬼ッズの日スタート!

今年度から、お子さんを対象とした新事業「鬼ッズの日」がスタートしました。毎月第 3 日曜日に鬼剣舞の衣装を着る体験や鬼剣舞の和紙面を塗る体験、そして鬼ッズの日限定たんけんシートで鬼の館の秘密を探ります。

衣装を着た鬼剣舞大好き鬼ッズは鏡を見てニコリ。面塗り体験では、5 色コンプリートする強者まで。ある月のたんけんシートでは、自分で描いたオリジナルの妖怪の絵を笑顔で見せてくれました。

鬼剣舞や鬼が大好きな鬼ッズはもちろん、鬼の館に初めてくる鬼ッズにも楽しい一日となっています。第 3 日曜日は鬼の館へ!



お父さんはナマハゲに

夏期わんぱく講座

鬼の館の恒例となったわんぱく講座「鬼剣舞体験」。今年も鬼剣舞大好きな子が 16 人集まり、「三番庭の狂い」に挑戦しました。岩崎鬼剣舞保存会の先生方にみっちり教えてもらい、8 月 14 日の芸能公演の中で発表しました。講座に参加した伊藤龍哉さん(黒西小 2 年)は「最初は踊れなかったけど、踊れて楽しくなってきました。だんだん上手に踊れるようになってうれしかったです。」と感想を書いてくれました。発表会当日、会場内は子ども達を見守る温かいまなざしと拍手でいっぱいになりました。



修了証書を手にパチリ

大乘神楽大会

今年で23回を数える大乘神楽大会を、市内7団体にゲストの早池峰大償流土沢山伏神楽保存会を加え、6月11日に開催しました。開演前から鬼の館エントランスホールは、神楽ファンの方たちでいっぱいになりました。「たおやかに舞う 女舞競演」と銘打ち、全14演目を上演しました。村崎野大乘神楽保存会の「帝童」、土沢山伏神楽保存会の「年寿」は、若い女の面をかぶり、紋付小袖に白足袋姿で錫杖を手に女性の所作を取り入れた舞を繰り広げ、たおやかさが会場を包んでいました。まさに女舞競演でありました。



たおやかに舞う
女舞

夏休みワークショップ

夏休みに「鬼ッズウォーターライトづくり」「親子でえがく子ども鬼」「鬼剣舞和紙面づくり」の3つのワークショップを行いました。

夏の特別展「お魔け屋敷Ⅱ」に合わせて開催した「鬼ッズウォーターライトづくり」では、ボランティアのお姉さんたちの手も借りながら鬼の館オリジナルキャラクターの根付けを作り、ライトに入れるキラキラパウダーやビーズを選ぶなど、完成をイメージしながら真剣に制作していました。完成後はライト片手にお魔け屋敷に潜入!自分でつくったライトで展示を夢中で鑑賞しました。



真剣な表情で

ナイトミュージアム

9月2日に「逢魔が時ミュージアムコンサート」を開催しました。津軽三味線奏者の藤原翼さんによる、約1時間の公演でした。曲の合間には、藤原さんによる興味深くかつユーモアあふれるトークがあり、会場に笑いが起きる場面もありました。7曲にアンコール1曲を加えた充実のプログラムで、あっという間(魔?)の1時間でした。

当日は天候に恵まれ、夕暮れから夜へと変化していく空の様子を見ながら演奏を聴くことができました。まさに昼と夜の移り変わる時間である「逢魔が時」にふさわしいコンサートとなりました。



藤原翼さんによる
迫力ある演奏

ボランティア 大活躍

今年、イベントで鬼の館を訪れた方は、「おや?何か雰囲気が違うぞ!」と思われたのではないのでしょうか。実は、春のわくわくイベントでは、北上翔南高校のJRCクラブ、夏のワークショップには黒沢尻北高校の生徒さん方に、ボランティアとしてお手伝いしてもらったのです。コーナーの受付、おに丸くんの衣装を着けておもてなし、工作の細かい部分の補助など、積極的に動いてもらいました。何よりも、会場内には新しい風が吹き込んだように、すがすがしい雰囲気が満ち、元気な声が響き、活力がアップしたのです。ありがとうございました。



↑笑顔で受付

←おに丸君とお手々つないで

学芸ルームから

『地獄をのぞく～お魔け屋敷Ⅱが終了』

主任学芸員 後藤 美穂

昨年に引き続き、今年も小学校の夏休みに合わせて開催した「お魔け屋敷」。うっかりすると「お化け屋敷」に聞こえてしまいますが、実は鬼の館が主催する夏の展示型教育普及事業です。去年は「え～？怖くないのか…」と落胆の声も聞かれましたが、今年は楽しくご見学いただけるよう様々な工夫をしてみました。

今年のお魔け屋敷は、展示ケースの中が簡単には見えない不思議な空間。しかも懐中電灯必携の真っ暗闇。あるのは小さなのぞき穴が約 30 か所と簡単な説明のみです。のぞいてみるとそこには死後の世界や地獄の様子を描いた絵図の拡大写真があります。対象の小学生だけでなく大人の皆さん



も興味津々の様子でした。実は、展示した写真パネルのもとになる資料は「地獄絵図」など 3 点のみですが、クローズアップして細かく見ていくと、様々な場面に分かれていることがわかります。のぞき穴は小さい上に写真 1 点につき一つだけですから、会場がどんなに賑わっていても自分と写真の対話の時間になります。お子さんがのぞいて様子を伝えると、「どれどれ」とおうちの方がのぞき込む—そんな光景が毎日見られました。

このお魔け屋敷にはもう一つのしかけがあります。入口に用意した A 3 判の紙です。真ん中に不思議な切込みが入っていて、パタパタと折ると本のようにたためるしかけになっています。中には資料に関するクイズが 5 問。地獄絵図の“こんなところを見てほしい”を盛り込んでみました。この地獄手帳は表紙にぼっかり空白があり、全部解答すると受付で「地獄のむごいシール」がもらえるのです。

全てが手作りの特別展でしたが、ちょっと地獄に詳しくなれたりちょっと鬼に興味がわいたりしたお友達がいたら嬉しいです。

館長挨拶

北上市立鬼の館
館長

島津 秀仁

4月1日から館長に就任しております島津秀仁（しまづひでひと）と申します。簡単に自己紹介しますと、家族は妻一人、娘二人、息子一人、母二人の7人家族で相去に住んでいます。名前を見た方から、幕末に活躍した九州の某殿様と関係があるのかとよく聞かれますが、どうやら何も関係は無いようです。今年には役所入庁31年目です。前任は監査委員事務局で、定期監査や決算審査などに関わる仕事をしておりました。鬼の館への異動で心機一転、毎日張り切っているところです。

鬼の館へ来て、当館が鬼剣舞や神楽をはじめとする各種芸能団体の皆さんや、地元の方々に力強く支えられていることを日々感じています。

毎月行われる芸能公演では、各保存会の皆さんが素晴らしい踊りを披露してくれますし、子どもたちの鬼剣舞講座には、保存会の踊り手の方々が、かわるがわる稽古をつけに駆けつけてくださいました。

また、地元のシルバー人材センターの御婦人たちが毎日かかさず日替わりでやってきては、鬼の館を隅々までピカピカに磨き上げてくれます。このように多くの人たちの愛に支えられているのが鬼の館なのです。

ところで、去る7月30日に鬼の館の累計入館者数が70万人に達し、70万人の方に記念品を贈呈してくす玉割りなどのセレモニーを行いました。平成6年6月1日の開館から23年を経ての快挙です。これは、これまで鬼の館に足を運んでくださった方々のおかげであり、歴代のスタッフの努力の賜物と深く感謝しているところです。

これからも地元の方々や関係団体の皆様と手を携えて、楽しい鬼の館、愛される鬼の館をつくって参りますので、応援をよろしくお願ひします。



平成29年度下半期事業のお知らせ

特別展・企画展

9月16日(土)～11月12日(日) 泣いた赤鬼クラフト展
12月9日(土)～3月18日(日) 鬼剣舞写真帖

鬼っこわんぱく講座

1月～2月 冬期鬼剣舞体験(全5回)

鬼ッズプレイミュージアム

12月～1月 冬休みワークショップ
毎月第3日曜日 鬼ッズの日

鬼ッズの日

鬼剣舞の衣装を着たり、張り子のお面を作ったり、鬼ッズの日限定クイズ片手に展示室を探検してみよう!

鬼剣舞着衣体験 先着10人

開催時間：午前9時30分～11時

所要時間：約40分

料金：無料

和紙面作り 先着10人

開始時間：午後1時30分

所要時間：約1時間

料金：500円



※各開始時間15分前から受付で整理券を配布。鬼ッズの日以外に体験を希望する場合には別途ご相談ください。

ハロウィンウィーク

10月23日(月)～31日(火)



鬼とにらめっこスケッチの会

12月17日(日)

じっくり見てみると鬼の顔っておもしろい! 展示室の鬼とにらめっこしながら鬼をスケッチしてみませんか。作品は次年度の催し物案内の挿絵として使用します。

対象：小学生



福豆鬼節分会

平成30年2月4日(日)

「福はうち、鬼もうち」の掛け声で豆まきを行い、一年の福を呼び込みます。お振る舞いや芸能公演など、内容盛りだくさんの冬まつりイベントです。

鬼学講座

2月～3月(全3回)

芸能公演

10月1日(日)・10月22日(日)・11月5日(日)
12月3日(日)・3月25日(日)

※各イベントに関する日時、詳しい内容等はお問い合わせください。



よろしくおねがいします



専任研究員の高橋洋子です。今年の3月まで小学校の教員をやっておりましたが、縁あって鬼の館に勤めることになりました。岩崎出身で、昔から鬼剣舞大好き、郷土芸能大好きで、教員時代も色々な活動にかかわってきました。鬼の館から発信される鬼剣舞を中心とした芸能活動にふれることは、とても嬉しいことです。また、館を訪れるたくさん子ども達と接することができることも嬉しく思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

専任研究員の小原芽衣です。北上市の合併年に生まれ、鬼の館には子どもの頃からよく訪れていました。実は鬼の館ホールにある大きな赤い剣舞面の横の様々な鬼のお面の柱、高校時代に組立てに携わった為、見る度に懐かしい気持ちになります。大学院で鋳金と美術教育について勉強していたので、活かせたらと思います。郷土芸能を身近に感じない所で育ったので、憧れは人一倍。毎日が勉強の日々です。よろしくお願いいたします。

鬼剣舞の写真を探しています

鬼の館では、今年度の冬期に開催する企画展で、写真で記録された鬼剣舞を紹介する予定です。

次のような写真を探していますので、お持ちの方はぜひご協力をお願いします。

- ・お父さんやおじいちゃんが踊っていたころの古い写真
- ・桜や新緑、紅葉、雪景色の中で踊る鬼剣舞の写真
- ・小さいお子さんの「なりきり」鬼剣舞写真

このほか、皆さんの思い出に残る鬼剣舞や、ぜひとも見せたい珍しいショットなどなんでもかまいません。

写真の貸し出し、公開にご協力いただける方は、鬼の館までご連絡ください。

(Tel 0197-73-8488)



事業報告

●企画展・特別展

特別展「収蔵資料展～剣舞編」
4月15日(土)～7月2日(日) 5,398人
特別展「お魔け屋敷II」
7月22日(土)～8月27日(日) 5,087人

●逢魔が時ミュージアムコンサート

9月2日(土) 122人

●芸能公演

4月23日 北藤根鬼剣舞 観客 174人
5月4日 鬼柳鬼剣舞め組 観客 173人
黒沢尻北鬼剣舞
5月14日 黒岩鬼剣舞修行生 観客 51人
飯豊鬼剣舞少年団
5月28日 鬼柳鬼剣舞 観客 88人
6月25日 黒岩鬼剣舞 観客 168人
7月23日 口内鬼剣舞 観客 57人
8月5日 岩崎鬼剣舞 他 観客 374人

※第56回北上みちのく芸能まつり会場として

8月14日 春田打 観客 174人
岩崎鬼剣舞
8月27日 相去鬼剣舞 観客 172人
9月24日 御免町鬼剣舞 観客 213人
10月1日 谷地鬼剣舞 観客 139人

●鬼ッズ・プレイミュージアム 4月1日～9月30日
和紙面づくり (イベント等での面作りを含む総数) 参加者 220人
鬼剣舞衣装着衣体験 参加者 79人
<夏休みワークショップ>

7月30日鬼ッズウォーターライト 参加者 21人
8月6日親子でえがく子ども鬼 参加者 4人
8月11日鬼剣舞和紙面づくり 参加者 14人

●鬼っこわんぱく講座

5月5日こどもの日わくわくイベント 参加者1,107人
夏期鬼剣舞体験
7月15日・22日・29日・30日・8月12日・14日
参加者 16人

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 ・12月～3月の月曜日
・12月～3月の国民の祝日の翌日
(土・日・月曜日の場合は火曜日)
・館内整理日(11月27日～11月30日)
・年末年始(12月28日～1月4日)

入館料

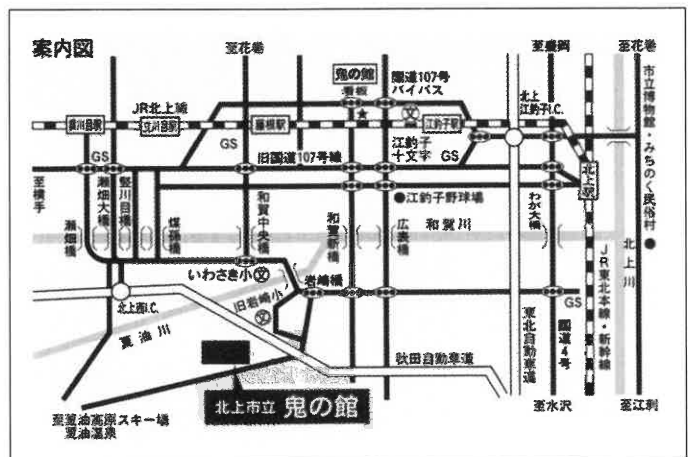
区分	個人	団体	共通観覧券
一般	500円	400円	700円
高校生	240円	180円	300円
小中学生	170円	120円	200円



*未就学児は無料
*団体は20名以上
*共通観覧券は鬼の館の他、北上市立博物館、北上市立利根山光人記念美術館でご利用いただけます。各施設1回ずつ観覧でき、有効期限は発効日より1年間です。

学芸ルームのかたすみで・・・

食欲の秋です。おいしい物の誘惑につい負けてしまう季節ですね。「芸術の秋」について、由来を調べてみました。秋は気候が安定して過ごしやすく、集中できる季節だから(諸説アリ)の様です。「〇〇の秋」なんてお構いなしに、岩手の冬の足音はもうそこまで近付いているかのような朝晩の寒さ。「〇〇の秋」をめいっぱい楽しみたいです。(小)



交通利用 ・JR北上駅西口よりバスで約25分
湯本温泉線「岩崎橋」下車徒歩約10分
(平日のみ運行)
・JR北上駅より車で約20分
・東北自動車道「北上江釣子 I.C.」秋田自動車道「北上西 I.C.」よりともに車で約15分



北上市立鬼の館だより

第47号 2017(H29).10.16
編集・発行 北上市立鬼の館
〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地
TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508